

本書作成にあたって

「カレシの 元カノの 元カレを、 知っていますか。」

これは、公共広告機構によるエイズ予防のキャッチフレーズです。人の性的なつながりは、少しさかのぼっただけで、まったく知らない他人とつながっている。知らないうちに、性的ネットワークの中に自分がいる可能性があることへの警鐘であり、「エイズ（性感染症）なんて関係ない」と、言い切れない危険性があることを意味しています。日本では、依然としてHIV感染者やエイズ患者が増え続けているとともに、クラミジア等の性感染症が若年層で蔓延していることが大きな問題となっています。

県内の高等学校で行われた性教育講演会に対する保護者の思いや願いを調査したところ、次のようなものが寄せられました。

「性について敏感な年頃に男女交際をしていると、やはり性行為について心配です。興味だけで性行為をしてはいけない。体、心ともに傷つくことを教えたい。」

「昔は、SEX＝結婚という概念がありましたが、今は気軽にその行為に走り、取り返しのつかないことになってしまうこともあります。生命の大切さや望ましい交際のあり方などを伝えてほしい。」

子ども達は今、携帯電話のインターネットを通じて「メル友」と知り合い、また、出会い系サイトにより見知らぬ人と簡単に出会える世界の中にいます。親の知らないところで、子ども達は顔の見えない人と簡単につながり、仮想と現実の世界を行き来する中で、人間関係を十分に築くことなく、性的な関係を持つといった若者が増えています。

インターネットやマスコミによる過激で歪められた性情報が横行している現状を踏まえ、学校における性に関する指導は、児童生徒が性について正しく学び、性に関する様々な問題を自分のこととして考え、自己の健康や自他の命を大切にしたい意志決定や行動選択ができる力を育てることが重要であると考えます。

本書は、「学校における性教育」の手引書の第二弾として、実践事例を基に、実際の授業を行う上での留意すべき事項を明らかにしようとしたものです。「PART 1～授業を仕組む前に～」及び「PART 2～授業を進めるときに～」を参考にし、各学校で指導内容や方法について議論し、共通理解の上で、性に関する指導が適切に進められることを願います。

平成19年3月

性教育実践調査研究委員会 一同

目次

◇本書作成にあたって

1 「性に関する指導」を効果的に進めるためのQ&A

- (1) 教育相談活動を生かした「組織的な指導」 1
- (2) 指導の方向を総合的に判断するための「実態把握」 2
- (3) 集団指導と個別指導の区別と関連 4
- (4) 「自分のこととして考える」ための指導 4
- (5) ねらいを明確にした外部指導者の活用 5
- (6) 「保護者の理解」を深めるための工夫 8
- (7) 発達段階を踏まえた指導 8

2 性に関する指導の目標と発達課題

- (1) 目標と発達課題 10
- (2) 授業等における指導の重点 12

3 実践事例 13~48

- 指導構想
- ワークシート
- 学習資料

◇おわりに



1 「性に関する指導」を効果的に進めるためのQ&A

「学校における性教育 PART 1 ～授業を仕組む前に～」において、学校における性教育の進め方の基本的な考え方を述べた。ここでは、「性に関する指導」に係る実践上の留意点を具体的な事例とともに Q&A 形式で整理した。

<指導体制について>

PART 1 P 27～28 参照

(1) 教育相談活動を生かした「組織的な指導」

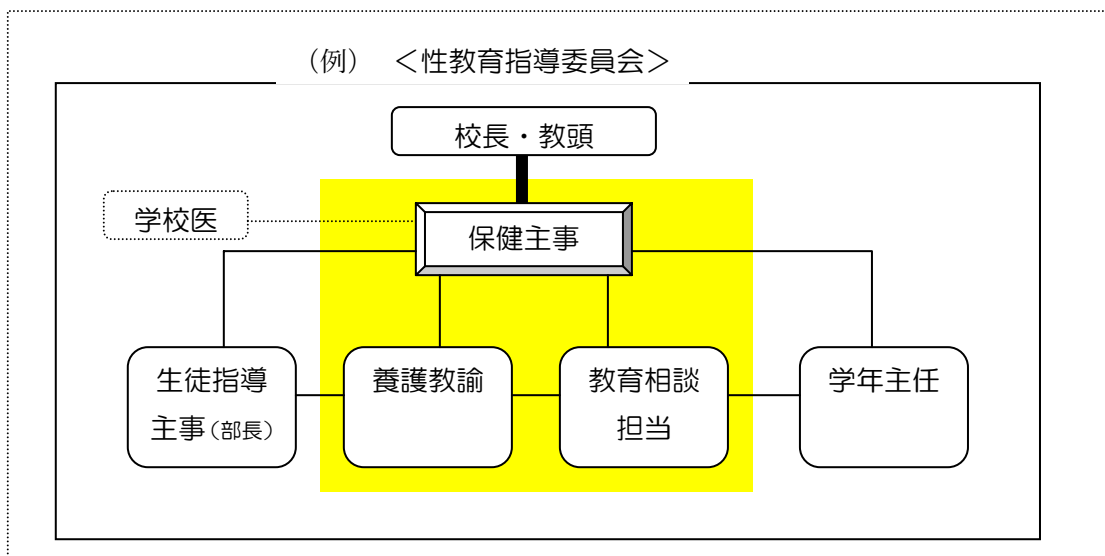
学校全体で性教育に取り組むためには、校長のリーダーシップが発揮される組織的な指導体制が必要である。さらに、その組織が効果的に機能するためには、指導部会等の校務分掌に於ける位置付けや、その果たすべき役割を明確にすることが大切である。

Q 1 性に関する様々な問題に対して、「積極的な指導」を進める上でどんな組織体制が必要なのでしょうか。

学校は、性に関する生徒指導上の問題が起きれば、迅速且つ誠実な対応が求められる。大切なことは、そうした問題が起きる前に、児童生徒自身が適切な行動選択ができるような力を身に付けさせることである。

そのためには、児童生徒の性に関する実態を多面的にとらえ、ケースに応じて組織的な対応がとれるよう、保健主事等を核にして、養護教諭や教育相談担当（スクールカウンセラー）、生徒指導主事等による機能的な組織を編成し、教育相談機能を生かした組織的な指導を進めることが重要である。特に、教育相談で得た情報を、組織で共有し、内容によって組織的に対応することが極めて重要である。

★事例1 教育相談機能を生かした「性教育指導委員会」



(2) 指導の方向を総合的に判断するための「実態把握」

「性に関する指導」は、児童生徒が性に関する課題に直面した場合に、正しい判断のもとに意志決定や行動選択を行い、自らの健康の管理や生活行動の改善を適切に実践できる能力（実践力）を育成することが重要である。

そのために、「性に関する指導」を進める時は、児童生徒の性に関する実態を十分に把握した上で、指導に当たることが必要である。

Q 2 性に関する実態を把握する上で、留意することは何ですか。

性に関する実態とは、大きく分けて2つあると考える。

一つは、「見える実態」としての「性行動」の状況である。これは、具体的な事実としてとらえる事ができるものである。

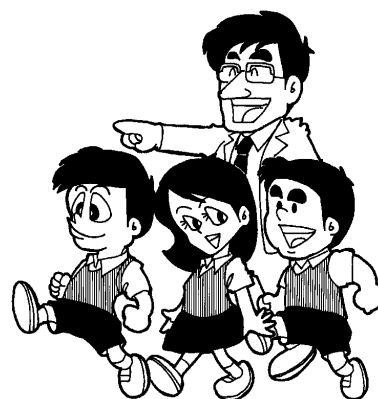
もう一つは、「見えない実態」としての「性意識」や「性知識」の状況である。これは、性行動に繋がる内的な要因として洗い出すことが必要である。

こうした2つの実態を把握することで、問題や課題に応じた指導内容や方法が明確になり、児童生徒の内面をとらえた指導が可能となる。

但し、「性に関する指導」は、個々の状況に応じた個別指導が必要な場合が多く、上記実態の背景にある友人関係や地域の状況、家庭環境や保護者の意識等をとらえるとともに、児童生徒の「心の健康（心のつながりや心の安定感等）」の状況を把握することで、指導の方向を総合的に判断し、内面をとらえた指導を行うことが必要である。

特に、アンケート調査等による実態の把握については、本人や保護者のプライバシーへの配慮が必要である。

＜ 実践事例⑧、実践事例⑨を参照 ＞



★事例2 「事前保健調査」におけるプライバシーへの配慮

〈事前保健調査〉

- (1) 調査 宿泊学習・修学旅行の事前保健調査
- (2) 対象 小学校
- (3) ねらい 宿泊を伴う学校行事の前に保健調査を実施し、児童一人一人の健康状態を把握し、保健指導に活用する。

《留意点》

- 1 「月経（生理）」の有無等を直接調査するような項目は入れない。
（例）「心配なこと（例：乗り物酔い、月経（生理）、夜尿症など）があれば、記入してください。」とか、「気になることについては、事前に担任又は養護教諭に相談してください。」のように記述する。
- 2 調査項目に、「初経はいつありましたか」といった指導上必要でない内容は入れない。
- 3 調査用紙の回収には、プライバシーの保護や個人情報の管理の観点から、封筒に入れて回収するとか、回収用紙を教師用机などに放置するといったことのないよう配慮する必要がある。

〈関連法規〉

○ 文部省体育局通知（平成6年12月8日付文体学第168号）

第4 健康診断実施上の留意点

3 保健調査等

学校においては、健康診断を的確かつ円滑に実施するため、必要と認めるときに、児童生徒等の発育、健康状態等に関する調査（保健調査）を行うものとしている（学校保健法施行規則第8条の2）が、健康診断を有意義に行うためには毎年、確実に保健調査を行うことが望ましいこと。また、個人のプライバシーに十分配慮しつつ、保健調査の活用により家庭や地域における児童生徒等の生活の実態を把握するとともに、学校において日常の健康観察を行い、これらの結果のほか、体力・運動能力テストの結果を健康診断の結果と併せて活用することなどにより児童生徒の保健管理及び保健指導を適切に行うこと。

(3) 集団指導と個別指導の区別と関連

性に関する指導は、集団で一律に指導（集団指導）する内容と個々の児童生徒の抱える問題に応じて個別に指導（個別指導）する内容の区別を明確にして実施しなければならない。

Q3 集団指導と個別指導で扱う内容に違いがあるのですか。

一般的に、集団指導の内容は学習指導要領に示された内容であり、全ての児童生徒が身に付けるべき知識等である。しかし、その指導内容では、個人の課題への対応が不十分な場合には、個別指導や個別相談により、より具体的な内容で、時間をかけた指導が必要であると考えられる。また、指導内容によっては、関係機関と連携し、より専門的な内容を提供することも必要になる。

★事例3 集団指導と個別指導を関連させた指導

〈性感染症予防の指導（中3）〉

(1) 集団指導

- 保健体育（保健分野）の学習「性感染症の予防」において、科学的に理解させる。
- 外部講師（医師や保健所関係者等）による講演「性感染症の現状」において、予防的な視点での具体的・専門的な情報を伝える。

(2) 個別指導

- 性的接触による性感染症や妊娠に対する指導が必要な生徒への個別指導
 - ・ 養護教諭やスクールカウンセラー、学校医との相談の機会をもったり、専門医を紹介したりする。
 - ・ 状況に応じて、少年サポートセンター（岐阜県警察）への相談の機会を持ち、犯罪等に巻き込まれる危険性について考えさせるなど。

(4) 「自分のこととして考える」ための指導

保健の学習において、安易な性行動が引き起こす健康被害の事実を知っても、その予防に繋がらないこともある。そこには、「自分は大丈夫」、「自分には関係ない」といった意識が強く、自分のこととして考えていないことに起因することが考えられる。

Q4 性に関する行動について問題意識をもっていない児童生徒への指導を、どのように考えたらよいですか。

一般的に性意識が開放されている中で、自分自身の性に関する行動について問題意識をもっていないことも少なくない。児童生徒自身が、問題に「気づき」、「解決しなければいけない」という意志をもつ時、この性に関する問題が解決へ向かうと考える。

例えば、「愛していれば性行為をしてもよい」という問題は、「よい・いけない」という結論を伝えることで解決するわけではない。現在の自分が「よい」という選択をした場合

にどのような事態が生まれるのか、そのことが自分の生き方にどのような影響を与えるのかということ、様々な情報を基に考え、適切な意志決定と行動選択ができる力を育むことによって、本質的な課題解決に結びつくといえる。 < 実践事例⑬を参照 >

< 連携 >

PART1 P31～34参照

(5) ねらいを明確にした外部指導者の活用

学校における性教育を進めるに当たっては、地域や関係機関等との「連携」が重要である。「連携」とは、「児童生徒をこのようにしたい」という同じ目的をもって、専門性を生かし、それぞれの役割を果たすことである。

現在、指導内容や児童生徒の実態に応じて、外部講師（学校医、保健師、産婦人科医、助産師等）との連携により、性に関する指導が効果的に行われている。

Q5 「性に関する指導」について、外部講師による一斉指導を受ける際の注意すべき点は何ですか。

一斉指導における外部講師の活用は、事前の調整が極めて重要になる。外部講師の専門的な知識や経験を知ることとはとても意味があるが、そのことは全員の児童生徒に必要な内容であるのか、発達段階に適している内容であるのかなど、十分な配慮が必要である。

つまり、児童生徒の実態を基に、授業や講演会等の「ねらい」（目的）を明確にし、外部講師の児童生徒に提供する情報が、ねらいに合致し、且つ教育的な内容であることを具体的に確認することが不可欠となる。

★事例4 学習内容を明確にした外部講師依頼の仕方

<外部講師依頼書の例>

平成〇年〇月〇日

（講師名）様

〇〇〇学校

校長 〇〇〇〇

「性に関する講演会」講師派遣について（依頼）

〇〇の候、先生には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本校〇年生を対象とする講演会を下記のとおり開催したいと思っておりますので、ご指導よろしくお願いいたします。

記

1 日 時 平成〇年〇月〇日（ ） 〇時～〇時

2 場 所 〇〇学校 体育館

3 対 象 〇年生全員、保護者

4 目的及び日程等 別紙参照

以上

〈別紙例〉

「性に関する講演会」 講演内容について

1 本校における性に関する教育の実態

- 生徒が直面している今日的な健康問題（性の逸脱行動、薬物乱用、人工妊娠中絶等）に関する指導は、・・・・・・・・・・で実施してきた。
- 教科（保健体育）においては、・・・・・・・・・・に指導している。
- 保護者に対しては、・・・・・・・・・・を実施した。

2 本講演会の目的

性感染症予防の正しい知識を身に付け、自分自身の心と体を大切にしようとする態度を育てる。

3 実施日時・場所

平成〇年〇月〇日（ ） 〇時～〇時 ・〇〇学校体育館

4 対象者

〇年生生徒及び希望する保護者 約〇〇〇人

5 講師

（ 所 属 ・ 役 職 ・ 御 名 前 ）

6 日 程

- (1) 〇時〇分 講演会の目的と講師の紹介
- (2) 〇時〇分～〇時〇分 講演会
- (3) 〇時〇分～〇時〇分 質疑応答
- (4) 〇時〇分 お礼の言葉

7 御教示いただきたい内容

- ・ 目で見える性感染症（電子顕微鏡で見る細菌）
- ・ 様々な性感染症の種類と感染経路
- ・ 岐阜県における性感染症の実態
- ・ 生命誕生と命の尊さ
- ・ 生徒へのメッセージ

8 生徒の実態

- アンケートによる意識調査の結果など
- 養護教諭等がつかんでいる生徒の様子

9 配慮事項

- 教科（保健体育）における学習指導要領上の取扱い
 - ※ 教科書のコピー等を用意し、内容や用語について理解を得る。
- 写真等の資料の提示について
 - ※ 発達段階を考慮し、全員の生徒に見せるものとして適当であるかどうか、事前に確認する。
 - 基本的に、性器と分かる写真の使用は避ける。

<アンケートによる意識調査例（高校生用）>

◇ 性教育講演会事前アンケート【生徒用】

次の質問について、自分の考えに近いものの数字に○をつけてください。

（ 1. はい 2. どちらともいえない 3. いいえ ）

- | | | |
|---|------------------------|-------|
| 1 | 性感染症にはどんなものがあるか知っている | 1…2…3 |
| 2 | 性感染症にかかるとすぐに症状が出るので分かる | 1…2…3 |
| 3 | 性器クラジミアは性行為で感染する | 1…2…3 |
| 4 | 性感染症から不妊症になることがある | 1…2…3 |
| 5 | 出会い系サイトを利用することは危険である | 1…2…3 |
| 6 | 高校生でも好きであれば性行為をしてもよい | 1…2…3 |
| 7 | 自分の周りに相談できる信頼できる人がいる | 1…2…3 |
| 8 | 自分の行動に責任がもてる | 1…2…3 |
| 9 | 自分を大切にしている | 1…2…3 |

★ 性教育講話が終わった後で専門医の先生に個別で話が聞きたい人は、養護教諭の（○先生）に、○月○日までに申し込んでください。

◇ 性教育講演会事前アンケート【保護者用】

○月○日に予定しています性教育講演会の参考にしたいと思います。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力願います。

所属（ ）年生

- 1 保護者として、日頃のお子様（友達）の様子から、性に関して気になる事や心配事があれば書いてください。
- 2 性に関して、高校生に教えなければならないと思う内容を書いてください。
- 3 講演会で、専門医から聞きたいと思われること、高校生に是非話してほしいと思われる内容について書いてください。

ご協力ありがとうございました。

（注意）「今交際している人がいるか」といった調査は、プライバシーの配慮の観点から、必要があれば個別調査で行うこと。

(6) 「保護者の理解」を深めるための工夫

性に関しては様々な価値観の相違があり、性教育についても様々な考え方がある。よって、学校における「性に関する指導」の必要性や考え方、目標・内容・方法について保護者に十分理解を得ることが大切である。

Q6 保護者の理解を深めるための効果的な方法がありますか。

保護者の理解を深めるためには、学校説明会や学級・学年懇談会、家庭教育学級等を通して、性教育への意識を高めるとともに、学年だよりや学級通信、保健だより等により日常的に、その意義や重要性の理解を得ることで、保護者と学校との共通理解を深めることができる。

しかし、学校からの配付物が保護者に渡らなかつたり、性に関する内容について親子で話し合ったりすることが十分でない状況も予想され、保護者に適切な情報を提供したり、理解を深めたりする工夫が必要である。

例えば、授業参観等で「性に関する指導」の実際を公開し、保護者にも授業に参加してもらい意見を交流する機会を設けたり、学級懇談会等において、保護者同士で性に対する考え方や性行動の対処の仕方等を交流し合ったりすることで、互いに理解を深めることが大切である。特に、インターネットを介した性情報の実際や携帯電話による出会い系サイトに絡む事件や被害、性感染症や人工妊娠中絶の低年齢化の実態等から、児童生徒の置かれている状況を知り、全ての子どもに迫っている危険性に対する親としての対応のあり方をじっくり考える場をもつことが求められている。

< 実践事例⑤を参照 >

<性教育の全体構想>

PART1 P35参照

(7) 発達段階を踏まえた指導

「性に関する指導」は、体育・保健体育のみならず、道徳や特別活動など、学校教育活動全体を通じて取り組むものであり、教科等の役割を明確にした上で、相互に関連させた取組が必要である。

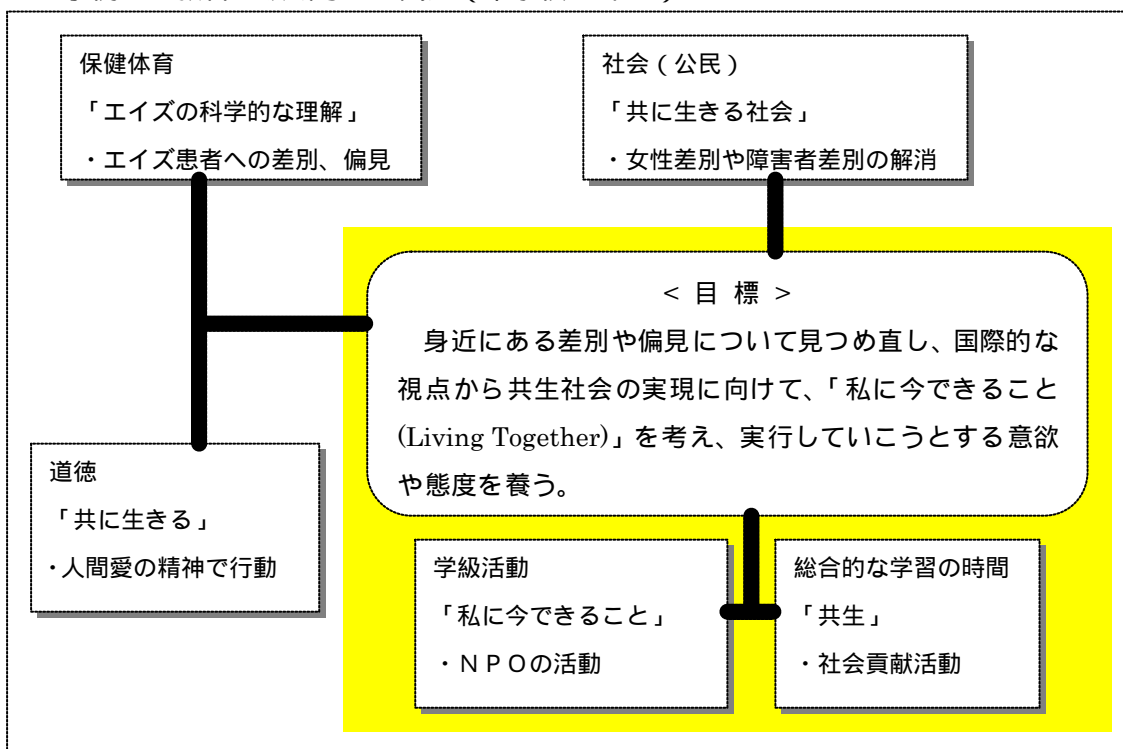
Q7 「性に関する指導」を進めるに当たって、「発達段階を踏まえる」とはどういうことですか。

学校における「性に関する指導」は、児童生徒の発達段階を踏まえた指導を行うことが極めて重要であり、この観点から指導内容の体系化を図る必要がある。

例えば、小学校の特別活動において、体育「保健領域」の学習内容との関連を十分考慮

せず、低学年において性に関する知識（性器の名称や性行為に関する事項等）を指導することは適切でないと考えられる。また、中学校の保健分野の学習において、性感染症（エイズ）の予防としてコンドームの有効性を学習させることは必要であるが、実際のコンドームを用いた装着実習等は適切な内容ではない。つまり、からだの発育・発達や性感染症等に関する科学的な知識については体育（保健領域）・保健体育（保健分野）で扱うとともに、性に関する倫理的な面や人間関係の重要性、具体的な対処の仕方等については、道徳や特別活動で深めていくと捉え、相互に関連付けた指導を行うことが必要である。

事例5 教科・領域等との関連（中学校3年生）



2 性に関する指導の目標と発達課題

(1)目標と発達課題

校種	性にかかわる目標	性に関する発達課題			児童・生徒の意識等	指導内容	指導の場	
小学校	<p>(1) 生命の誕生及び心身の発育・発達における男女差や個人差に関する基礎的事項を理解するとともに、自己の性を受容し、自分を大切にしようとする心情や態度を育てる。</p> <p>(2) 男女には体の特徴や発達段階などに違いがあるが、互いに相手の人格を尊重し合うことが大切であることを知り、相手を思いやる心情や態度を育てる。</p> <p>(3) 家庭における役割は、男女の別なく分担し、互いに助け合うことが大切であることを知り、家庭や社会の一員として適切な判断や意志決定ができる能力や態度を育てる。</p>	ア	体の発育・発達に関すること	低学年	性的ないたずらや卑わいな言葉を発したり、性的な落書きをする	自分の体や性器への関心 自分と異なる性への興味	男女の体の違いに気付かせ、自分や相手を大切にしようとする心情や態度を育てる。 人間にはいろいろな器官があり、それぞれが大切な働きをもっていること、性器は大切な器官であり、清潔にすることが大切であることを理解させる。	特別活動 ①
				中学年	身体的に早熟な子をからかう	体つきの変化や初経などが見られる 体への関心が高まり、体の変化や他人との違いに不安を抱く	思春期の体つきの変化や精通、月経の仕組みなどについて、科学的に理解させる。 体の発育・発達の方法や体つきには男女や個人によって違いがあることを知らせ、不安を解消する。 女子に対して初経に対する心構えや月経の手当の仕方を習得させるとともに、生活上の配慮について理解させる。	体育 ④ 特別活動 個別指導 ③
				高学年	自分の体についての不安や悩み	体つきの変化や初経・精通	思春期になると、不安や悩みは誰もが経験することに気付かせ、いろいろな対処があることを理解させる。	特別活動 個別指導
		イ	心理的な発達に関すること	低学年	赤ちゃんの誕生についての疑問をもつ	何でも知りたい	動物の飼育や植物の栽培を通して生命の大切さを知らせるとともに、自分は父親・母親によって生まれ、愛情と保護によって育てられたことに気付かせる。	特別活動 生活科
				中学年		自分がどのようにして生まれたのかを知りたい	生命の誕生について簡単に理解させ、自他の生命を大切にしようとする態度を育てる。	体育 道徳
				高学年		生殖の仕組みについて関心をもつ	男女の体の特徴や、受精から出生までの仕組みについて理解させ、自他の生命を尊重する態度を育てる。	個別指導
		ウ	男女の人間関係に関すること	中学年	男女の反発や対立	異性に対する関心	男女には体や物事に対する感じ方や考え方に違いがあるが、人間として同じであることを理解させ、性別にこだわらず、互いに理解し合い仲良く協力していこうとする態度を育てる。	体育 特別活動
		エ	社会的な面に関すること	低学年			誘拐や性被害があることを知らせ、それを避けるための基礎的な行動や態度を身に付けさせる。	特別活動 ②
				高学年	ポルノ雑誌を見る夜遊びをする		保護者会等を通して、思春期の特性とその対応について知らせ、家庭との連携を図る。	家庭との連携 ⑤
	高学年			エイズ等に対する偏見・差別	いじめ・差別の意識	エイズという病気のあらましを理解させ、エイズについて偏見や差別をもつことなく、正しい判断ができる能力と態度を育てる。	体育 ⑥ 道徳	

校種	性にかかわる目標	性に関する発達課題		児童・生徒の意識等	指導内容	指導の場		
中学校	<p>(1) 心身の発育・発達や変化など人間の性の成熟について科学的に理解するとともに、発達途上にある自己の性を受容し、自他を大切にしようとする心情や態度を育てる。</p> <p>(2) 男女の心身の特質を基に男女が互いに相手を理解し、人格を尊重する心情や態度を育てる。また、望ましい人間関係を築いていくため、より適切な意志決定に基づく行動選択ができる能力や態度を育てる。</p> <p>(3) 男女の生き方は多様であることを理解し、家庭や社会において期待される役割や自己の将来の生き方について考えとともに、社会における性的な事象を見つけて、家庭や社会の一員として適切な判断や意志決定、行動選択ができる能力や態度を育てる。</p>	ア	体の発育・発達に関すること	異性への接近欲がでてくる		二次性徴について、月経・射精について、生殖の仕組みと生命誕生についての理解を図る。	保健体育 ⑦	
		イ	心理的な発達に関すること	性に関する不安や葛藤	性衝動の発現		思春期の心理的特徴・性にかかわる不安や葛藤・性衝動と性行動等についての理解を図る。	保健体育
		ウ	男女の人間関係に関すること	二人きりになりたがる			異性の心理や男女交際のエチケットやマナー、交際相手の選択などについて考えさせるとともに、男女の人間関係において、自分の生き方としてどのような行動をとるべきかについて深く考えさせる。	保健体育 特別活動 ⑧ 個別指導 ⑪
		エ	社会的な面に関すること	ポルノ雑誌やポルノビデオをみる	人間の性や男女の関係について誤ったとらえ		マスコミ等の性情報には営利目的で興味本位の内容が含まれていたり、インターネット上の情報には犯罪などにつながる危険性があることも理解させ、情報に対する賢明な選択能力と行動力を身に付け、人間の性への正しい認識を深めさせる。	保健体育 ⑩
				ダイヤルQ2やテレホンクラブに電話をする	性的接触に対する関心		予測される不幸な事態や「援助交際」等の法的・倫理的な意味を理解させる。	特別活動 ⑨
高等学校	<p>(1) 心身の発育・発達や変化など人間の性の成熟について理解を深めるとともに、それらを科学的・総合的に理解し、自他の性に対する認識を深め、人間としてより適切な行動を選択しようとする態度を育てる。</p> <p>(2) 男女の心身の特質と人間としての平等性について認識を深め、男女が互いに人格を尊重する心情や態度を育てる。また、将来を見通して、望ましい人間関係を築いていくため、より適切な意志決定に基づく行動選択の能力や態度を育てる。</p> <p>(3) 社会における自己の役割と責任について自覚を促すとともに、将来の生き方について自分の考えを確立する。また、性の文化や社会的な意味を理解するとともに、男女平等、人間尊重の精神を基盤とする性の望ましい価値観を確立し、適切な意志決定や行動選択ができる能力や態度を育てる。</p>	ア	体の発育・発達に関すること			体の発育・発達について科学的に理解させるとともに、個人差があることを十分に認識させる。	保健体育	
		イ	心理的な発達に関すること				男女の生理的、心理的な違いを理解するとともに、各自が望ましい男性像、女性像をもてるようにする。	保健体育
		ウ	男女の人間関係に関すること	性行為の経験 妊娠	性行為について、「高校生になれば許される」と安易に考えている		互いに異性の人格を尊重し、思いやりのある態度がもてるようにする。	保健体育 ⑫ 特別活動 ⑬ 個別指導
		エ	社会的な面に関すること	性被害にあう	「自分は大丈夫」という安易な気持ちや「嫌われたくない」という弱い気持ち		性感染症等の危険性について理解させ、自らの体は、自ら守らなければならないという強い意志と、具体的な予防の方法を理解させる。	学校行事 ⑭ 個別指導 家庭との連携 医師・警察等との連携 ⑮

〈参考〉 「学校における性教育の考え方、進め方」 文部科学省

(2)授業等における指導の重点

番号	指導の場	意 図	対象学年
①	学級活動	性器の名称を知識として教える授業ではなく、体（その一部に性器がある）を清潔にすることの大切さに気づき、清潔にする方法を理解させる。	小1
②	学年集会+学級活動	低学年（1年）を対象に、誘拐や性被害等から自分の身の守り方を身に付けることをねらいとし、集会で得た知識を態度化するための学級活動の在り方を整理する。	小1
③	個別指導	実際に初経を経験する中で、宿泊学習の事前指導として女子のみを対象とした指導の実際や早熟で自分の体の変化について悩みをもつ児童に対する保健室での個別指導の在り方を整理する。	小3
④	体育（保健）	大人への体の変化について、男女の違いを具体的にとらえさせるとともに、発育には「個人差」があることを理解させる。	小4
⑤	学級PTA	親として「止められない」のは、タイミングを失ったからであり、毅然とした態度で子どもと向き合うことを具体例を基に啓発する。	小5
⑥	体育（保健）	エイズの学習では、感染ルートを理解させることで、差別や偏見をもつことなく、正しい判断ができる力と態度を育てることを授業の出口とする。	小6
⑦	保健体育（保健）	月経・射精、受精と妊娠について、科学的に理解させることで、射精や月経が起こるようになったことは、新しい生命を誕生させることが可能になったことを認識させる。	中1
⑧	学級活動	思春期になれば、異性に関心をもつことや性的欲求が強くなることは自然であるが、一方で、歪んだ情報に影響された衝動的な行動や性行動に対する安易な意識が見られこともある。溢れる情報の中で、何が正しく、本当なのかを判断することの大切さを、お互いの意見を話し合うことで理解させる。	中2
⑨	学級活動	携帯電話がつくる人間関係の希薄さや被害を受けたり、犯罪に巻き込まれる危険な現実に向き合うことを通して、自分の行動によってどんな結果が起こるのかを予想し、責任ある行動をとるために、時間をかけてお互いを理解し合える人間関係を築きあげていくことの大切さに気付かせる。	中2
⑩	保健体育（保健）	エイズの学習では、「性行為によって、性感染症やエイズに感染したり、望まない妊娠の危険性がある」ということを科学的に理解し、将来にわたって責任ある行動をとることの大切さについて、じっくり考えさせる。	中3
⑪	個別指導	二人きりになりたがる生徒に対し、複数の教師による関わり方や養護教諭の役割を明確にした対応を整理する。	中3
⑫	保健体育（保健）	性的ネットワークの概念を分かりやすく説明し、自分が知らないうちにネットワークに引き込まれてしまう危険のあることに気付かせ、感染や妊娠のリスクを強調するとともに、予防や検査行動の仕方を理解させる。	高1
⑬	LHR	「性行為は、高校生になれば許される。愛していればいい。」といった意識による行動の危険性について、性感染症の実態や性的ネットワークの概念を基に考え、自分自身の性行為に対する考え方がどんな生き方に繋がるかを見つめ、グループワークで深めさせる。	高2
⑭	講演会	性感染症予防の講演会を仕組む上での手順や配慮事項を整理し、全員を対象とした内容について明確にする。	高全
⑮	個別指導（連携）	妊娠の可能性を感じ、養護教諭に相談する生徒への対応を、手順を追って整理する。また、養護教諭に相談しやすい環境の作り方を提案する。学校の性に関する危機管理・対応の在り方をまとめ、関係機関との連携の在り方について整理する。	高全

——実践事例——



実践事例	「からだはたからばこ」	・・・・・・・・ 13
実践事例	「さそいにのらない」	・・・・・・・・ 14
実践事例	「小3のおわりに初経を迎えた児童」	・・・・・・・・ 15
実践事例	「育ちゆくわたし」	・・・・・・・・ 19
実践事例	「性に関する興味や好奇心から生ずる安易な行動に対する指導」	・・・・・・・・ 23
実践事例	「病気の予防 病原体がもとになって起こる病気の予防」	・・・・・・・・ 24
実践事例	「性機能の成熟」	・・・・・・・・ 26
実践事例	「望ましい男女交際」	・・・・・・・・ 28
実践事例	「丁寧な人間関係づくり」	・・・・・・・・ 31
実践事例	「性感染症（エイズ）の予防」	・・・・・・・・ 34
実践事例	「二人っきりになりたがる中3女子生徒（B子）への個別指導」	・・・・・・・・ 36
実践事例	「現代社会と健康 エイズとその予防」	・・・・・・・・ 38
実践事例	「愛と性について」	・・・・・・・・ 42
実践事例	「性感染症の予防」	・・・・・・・・ 45
実践事例	「望まない妊娠をしたかもしれない女子生徒への指導」	・・・・・・・・ 47

性に関する指導事例

小学校

学級活動	学年	1・特別支援	分類番号	①
主題	からだはたからばこ			
ねらい	体の器官はどれも大切な役割を果たしていることを知り、体を清潔に保ち、乱暴に扱ったり、性器を露出したりせず大切にすることができる。			
評価規準	関心・意欲・態度	体を清潔に保ち、乱暴に扱ったり、性器を露出したりしないよう、体を大切にしていこうとしている。		
段階	時間	学習内容・活動	教師の支援及び評価	資料
導入	10	1 体の名前を確認する。 これは、みんなが持っているものです。さて何でしょう？ ・手、足、口、眼、心臓、おちんちん など。	○宝箱の中から体の一部の絵を取り出す。 ○自分の体の場所を指さし、確認させる。 ○パズルが完成して人となるようにする。 ○男女の性差は見た目で見えないよう、体をおさえる。	
		2 体の器官がどれも大切な働きをしていることを知る。 これらは何をする時に使いますか？ ・食べ物を食べる時に口を使う。口で話すことができる。 ・足を使って歩くことができる。 ・耳を使って聞く。 ・おちんちんからおしっこをする。		
展開	25	3 体を大切にするためにはどうすればよいのかを考える。 課題 『たからもの』を大切にするためには、どうすればよいのでしょうか。 次の3人は、『たからもの』を大切にしているかな？ ◇友達とけんかして悪口を言う子、たたいてしまうA子。 ◇歯を磨かない、手を洗わないB男。 ◇着替えの時に性器を見せておもしろがっているC男。	○ペープサートで、3人の場面を提示し、それぞれの場面のどこがいけないのか、どうしていけないのかを考えさせる。 ○見せたり触らせたりしてはいけないところだからパンツをはいていることを確認する。	
		・A子は、たたいたり悪口を言っているので大切にしていない。 ・B男は、虫歯になるし、ばい菌がついて病気になる。 ・C男は、おもしろがったり見せたりしているのでよくない。 体を大切にするためには、どんなことに気をつけたらいいでしょう。 ・たたいたり蹴ったりしない。 ・歯を磨く。手を洗う。 ・人に見せたり見られたりしない。 ・悪口を言わない。		
まとめ	10	4 今日の勉強でわかったこと、思ったことを書く。 ・友達をたたいたり傷つけたりしない。 ・体をきれいにする。 ・着替える時に見えないように隠す。	○通信などを使って保護者と連携を取り、実践評価をしていく。	
〈配慮事項〉 ○健康診断の事前指導やプールなどの着替えの指導、トイレの使い方や手洗い・うがいの仕方の指導の時にも関連させて指導を行う。 ○「プライベートゾーン」という言葉ではなく、「見せたり触らせたりしてはいけないところ」として提示する。				

性に関する指導事例

小学校

学級活動	学年	1	分類番号	②
主題	さそいにのらない（2時間）			
ねらい	誘拐や性的いたずらにあわないための予防や対処の仕方を知り、自分を守るのは自分であるという意識で安全な生活を送ろうとすることができる。			
評価規準	関心・意欲・態度	自分を守るためには「5つの約束」を意識して、絶対に被害に遭わない生活を送ろうとしている。		
段階	時間	学習内容・活動		教師の支援及び評価
導入	30	<p>1 県警生活安全課の幼児連れ去り防止教育班「たんぼぼ」の人の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな犯罪の例があるか ・どうやって身を守ればよいか ・5つの約束 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「一人で遊びません」 「知らない人について行きません」 「誰とどこで遊ぶか話します」 「大きな声で叫びます」 「近くの人に助けを求めます」 </div>		<p>○保護者も一緒に参加できるよう配慮する。</p> <p>○代表の児童と教師が、連れ去られそうな子と誘拐犯の役になってロールプレイングを行う。</p>
		展開	40	<p>2 被害を受けそうな時にはどうするか動作化して確かめる。</p> <p style="background-color: yellow;">課題 しらないひとにつれていかれそうになったときには、どうしたらいいでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「知らない人に声をかけられ誘われたら」、「知らない人に連れて行かれそうになったら」どうするか、みんなでやってみよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ◇知らない人に声をかけられ誘われたら <ul style="list-style-type: none"> ・「知らない人の車には乗りません。」 ・「家の人に確かめます。」 ・手の届かない距離を取る。 ◇知らない人に連れていかれそうになったら <ul style="list-style-type: none"> ・「たすけて」と大きな声で叫ぶ。 ・手足をばたばたさせて伏せる。 <p>3 誘拐や怖いめに遭わないためにはどんなことに気を付けたらよいかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 自分を守るのは自分自身です。あなたはどんなことを気を付けますか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・一人では遊ばない。 ・知らない人には絶対について行かない。 ・防犯ブザーをならす。大きな声で叫ぶ。 ・走って逃げて、近くの人に助けを求める。 ・いつもと同じ道を帰る。
まとめ	5			<p>4 「5つの約束」をもう一度確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで読む。

〈配慮事項〉

- 防犯ブザーの有効性を確認して、実際に鳴らしてみるとよい。
- 防犯ブザーを鳴らせば助かる（安全である）といったものではないことも教え、あらゆることで身を守る準備が大切であることを指導する。
- 保護者と共に、いつも帰るグループごとに下校し、次の項目などを確認するとよい。
 - ・危険箇所
 - ・一人になるのはどこからか
 - ・『子ども110番の家』はどこにあるのか

性に関する指導事例

小学校

個別指導	学年	3	分類番号	③
事例	小3の終わりに初経を迎えた児童		対応	養護教諭
事例の概要				
<p>母から学級担任に初経を迎えた連絡が入る。本人はどういうことか分からず、「血が出るんだよ」と友人に報告する。友人は興味を示し、数人の子に話し、うわさになってしまう。</p> <p>ある日、処置がうまくいかず、月経血がスカートにまで染みてしまう。周りの子はけがをしているかと思ひ、「血が出ている」と声を上げ、保健室へ連れて行かれる。</p>				
本人（家庭）の状況				
<p>二次性徴が見られ始めたが、お風呂の後も父親の前で裸で歩いたり、初経を迎えても、生理用品を「オムツ」と呼び面白がったりしていることを、母親は『これでいいの？』と心配している。母親が本人に生理用品の管理や処理については教えたが、スカートに染みてしまい不安に思っている。</p> <p>また、二次性徴が早くきたということは、身長伸びが早くとまることになるのかを心配している。</p>				
本児童（A子）		養護教諭の対応		配慮すべき事項
1 受容することで安心感を抱かせ、A子の月経に対する知識や意識の把握に努める。				
<p>スカートに血がついちゃった</p> <p>うん。おむつをあてるの。おむつは1時間ぐらいで替えるの。生理用のパンツもはいてオムツも替えているのにどうしてもれちゃったのかな。</p> <p>黒っぽいズボンのほうがいいかも。</p> <p>ナプキン？</p> <p>これなら、分からないね。</p> <p>友だちに「血が出る」こと話したら、「キモい」って言ってた。それに、トイレコーナーものぞいているよ。</p> <p>うん。みんなはいつなるの？</p> <p>じゃ、もうすぐ、なる子もいるんだ。</p> <p>勉強すれば、「キモい」なんて言わなくなるかも。</p>	<p>大丈夫だよ。そういうことはよくあるよ。着替えをどうぞ。</p> <p>生理があるんだね。一緒だね。（握手） 生理については4年生の保健の授業で習うけど、知っていることあるかな。</p> <p>量が多い日や動いてナプキン（生理用品）がずれる時にもれることがあるわね。もれても目立たない方法もあるね。</p> <p>そうだね。</p> <p>オムツって名前へんだね。A子さん。</p> <p>そうだね。ナプキンって呼ぼうね。生理用品を持っていることが分からない方法なんか載っている保健便りだけど、よかったらお家で読んでね。</p> <p>生理が始まって、困ったこととか、聞きたいこととか、他に何かある？</p> <p>言いにくいことをよく話してくれたね。いずれ、みんなも始まることなのね。トイレコーナーをのぞかれると、いやな気持ちになるよね。</p> <p>人によって違うけど、グラフを見ると小5～中1の間が多いのが分かるね。でも、Aさんのように3年生で始まる人も増えてきているよ。</p> <p>だから、4年生の保健の授業で生理、月経って言うんだけど勉強するんだよ。</p>	<p>言い出しにくい気持ちを汲み、「一緒」ということばで月経を肯定的に受け取るようにする。</p> <p>ナプキンという名称で呼び、「おむつ」という言葉は改めるようにする。</p> <p>資料「ほけんだより」</p> <p>トイレコーナーやサニタリーボックスと呼び、汚物入れなど暗いイメージの言葉は避ける。</p> <p>（資料）グラフ「初経を経験した人数」（「新しいほけん」東京書籍）</p> <p>個人差を知る。</p>		

本児童（A子）	養護教諭の対応	配慮すべき事項
2.自分の体験をもとに友だちに思いやりのある行動ができるようにする。		
<p>うーん。「生理になったこと、友だちに言わないほうがいいよ」かな。</p> <p>「ナプキン忘れた時は言ってね」かな。</p> <p>そうか、早いだけなんだ。よかった。</p> <p>まあいいやって感じ。</p> <p>〇〇先生、男だけどいいの？</p> <p>うん。</p> <p>いいよ。</p>	<p>体のことは心配なこともあるから、そのことについては授業で勉強をするよ。生理のことを心配している子にアドバイスするんだけどなんて言ってあげる。</p> <p>言っていやな思いしたんだね。…他にあるかなあ？</p> <p>やさしいね。</p> <p>「みんながなるから心配ないよ」という子もいたよ。</p> <p>大丈夫よ。まだ、心配なこととか、他に何かある。体が変わってきたこととか…</p> <p>そうか。一度にはすっきりしないよね。また何か、いやなことや困ったことがあったら私でも、担任の先生でもいいから言ってね。</p> <p>もちろん、力になりたいと思っているよ。お母さんに今日のことを自分で話せるといいな。</p> <p>私も話していいかな、個人差のこととか。</p> <p>ありがとう。</p>	<p>友だちが初経を迎えた時は、自分の体験をもとに助言するなど、思いやりのある行動ができるようにする。</p> <p>例えを出す時は「他には」と付け加えて話しを広げる。</p> <p>連携を図り、相談の窓口を広げる。</p> <p>保護者の不安を理解し、初経を迎えたことを肯定的に受け取れるよう支援する。</p>
考 察		
<p>月経については、思春期の女子やその保護者が関心を示し、初経を迎えた子の人数を数える光景を目にする。4年生の保健で初経について学習するが、それ以前に初経を迎えた子には個別指導を施し、処置や個人差のほか、大人へのステップとして誰もが迎えることを気付かせる。そのことで、子どもたちは安心でき、少しずつ体の変化を受け止めるようになる。</p> <p>このことは、友だちが初経を迎えた時には、自分の体験に照らし合わせて助言するなど、思いやりのある言動ができるようになる。</p> <p>性の悩みや不安については保健や学級活動の授業で取り上げ、友だちの何気ない態度や言葉が不安や悩みを大きくすることに気付かせたい。また、個人差や性差を知り、自分と仲間の心や体を思いやる態度を身に付けさせたい。</p>		
<p><配慮事項></p> <p>○ 宿泊を伴う行事の事前健康調査等は、個人情報として適切な配慮が必要である。</p>		

ほけんだより

平成〇年〇月〇日

No.〇

〇〇小学校保健通信

初経（はじめての月経）は、ある日、突然やってくるものです。ほとんどの場合、「おなかの下のほうが重〜い感じだった」「そういえば、2〜3日前から気持ち悪かった」という程度です。また、始めは、あたり、なかつたりということが多いため、泊まりの学習のときは生理用品を用意しておくとう安心です。学校でも次の点について学習します。この機会にご家庭でも話題にしてください。

急に始まった



ナプキンをもっていないときは、保健の先生やどの先生にでも言ひましよう。言ひにくいときは友だちの力をかりるといいです。家でも用意しておくとう安心です。

ナプキンはどう使う

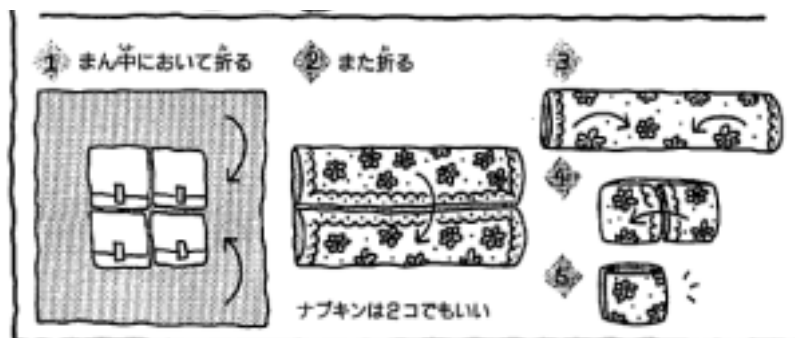
月経の血が出てくるところは、尿の出るところと肛門の間にあるので、そこにナプキンをあてます。はねの部分をはりつけて動かないようにして、2〜3時間に一回は取りかえて清潔にしておきましょう。量の多い日は、体育の前にとりかえておくともれにくくなりますよ。

ナプキンをすてるとき

取りかえたナプキンは、中が見えないように丸めて、新しいナプキンについていたビニールにくるんで、最後にビニールについていたシールでくるむしくみになっています。くるんだものをトイレにそなえつけの容器（サニタリーボックス）にすてましよう。トイレには流さないでください。つまってまいます。

もし、月経血で便器を汚してまいたときは、トイレトペーパーでふきましよう。

〜ニセハンカチ作戦〜
ナプキンをもっていることに気づかれませんおさいふおりで、後から入れてもOKです。



（参考文献）「セイリの味方スーパームーン」作・高橋由為子

お風呂はどうする

からだは洗うようにましよう。湯船に入ることは家の人と相談してください。

しよけい
初経になったときのインタビュー



おうちのかたへ この機会に親子で心の準備をしてください。

① 準備について

宿泊を伴う学習の前に、ナプキン、ショーツをお子様とともに用意してください。初経を迎えたときにどう対処したらよいかかわかるとともに、おうちの方に「生理になったよ」と言いやすくなるステップになります。年齢が低いうちは、不慣れで月経量も多く、羽根突きや夜用などを用意することをお勧めします。

② 学校や家庭で初経がきたとき

学校では、困ったときは保健室へ行くことを伝えてください。家庭では、だれかに言うことを伝えてください。お子様によっては、言いにくいので決めておくとうちが安心します。よろしくをお願いします。



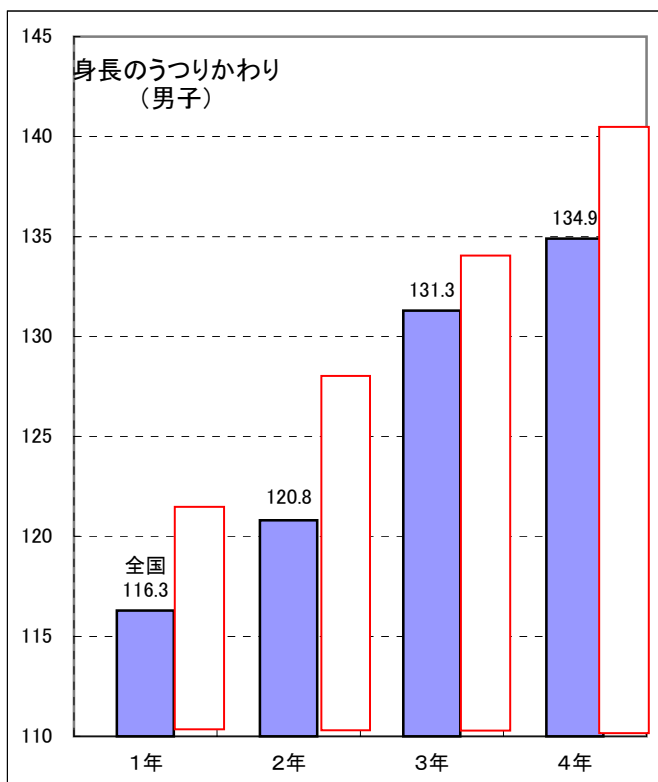
性に関する指導事例

体 育	学年	4	分類番号	④
単元名	育ちゆくわたし		主題名	体の発育のしかた
ねらい	からだは年齢に伴って発育するが、発育のしかたや時期には「個人差」があることが分かり、育ち方の違いを認め合うことの大切さをつかむことができる。			
評価規準	知識・理解 思考・判断	・発育の特徴を書き出している。 ・身長伸び方の違いや共通点を見付け、発育には個人差があることをまとめている。		
段階	時間	学習内容・活動	教師の支援及び評価	資料
導入	5	1 1年生の頃と今のからだの違いをつかむ。 ・体が小さい ・顔や腕がぶよぶよして、やわらかそう	○4年生という時期は大人に近づいていることを確認する。	1年生の時の写真
展開	15	課題 発育の仕方はずっと同じか、みんな同じかどうかを調べてみよう。 2 1年から4年までの身長発育をグラフに描く。 3 1年から4年までの身長の変化を紙テープで示し、身長伸び方の違いに気付く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">身長伸び方について気付いたことはありますか。 ・1年生と比べて0cm伸びた。毎年伸びている。 ・伸びが毎年違う。 ・伸びは一人一人違う。</div>	・グラフが書けない子を支援する。 ○「伸びが毎年違う」ことから、急に伸びる時期があることを確認する。	ワークシート 資料1
	15	4 『6才から15才の身長』（資料2）から伸び方には「個人差」があることを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">身長伸び方は一人一人違うのか、資料で確認してみよう。 ・6才の時はたもつさんの方が小さかったのに、15才ではたもつさんの方が大きくなっている。 ・たもつさんは9才から15才で急に伸びている。 ・えいすけさんは12才から15才で急に伸びている。</div>	○発育のしかたを、個人差の視点で考えさせる。 ○身長伸び方の違いから「個人差」を意味付ける。 ・教科書の絵図で確かめさせる。	資料2
	15	5 「身長伸び方」「体重の増え方」のグラフから「男女差」があることを知る。 ・男子は12才以降も身長が伸び、体重が増えるが、女子はあまり伸びなくなる。 ・11才頃は、女子の方が男子より身長も体重も大きい。	【思考・判断】学習ノート・意見 身長伸び方の違いや共通点を見付け、発育には個人差があることをまとめている。 ○男子と女子とでも、身長が急に伸びたり、体重が急に増える時期は違うことを「男女差」として意味付ける。	教科書
まとめ	10	6 発育の特徴を学習ノートにまとめる。 ・年齢とともに発育する。 ・発育には個人差がある。 ・発育には男女差がある。 7 次時の内容を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">からだがいよいよ育つためには、どのように気を付けたかをうちの人にインタビューしてくる。</div>	【知識・理解】学習ノート 発育の特徴を書き出している。 ・保護者用学級通信を活用する。 ・発育には家族の支えがあることに気付く機会とする。	資料3
〈配慮事項〉 ○ 今の自分の体の育ち方が、他の人と違ったからといって心配ないことを「個人差」と関わらせて説明する。				

単元名	育ちゆくわたし	からだの発育のしかた
-----	---------	------------

1. 身長のおつりかわり

学年	身長	
1年	122cm	身長のお伸び
		6cm
2年	128cm	身長2年-1年
		6cm
3年	134cm	身長3年-2年
		7cm
4年	141cm	身長4年-3年
		計 19cm



2. 発育のしかたの特ちょうを書きましょう。

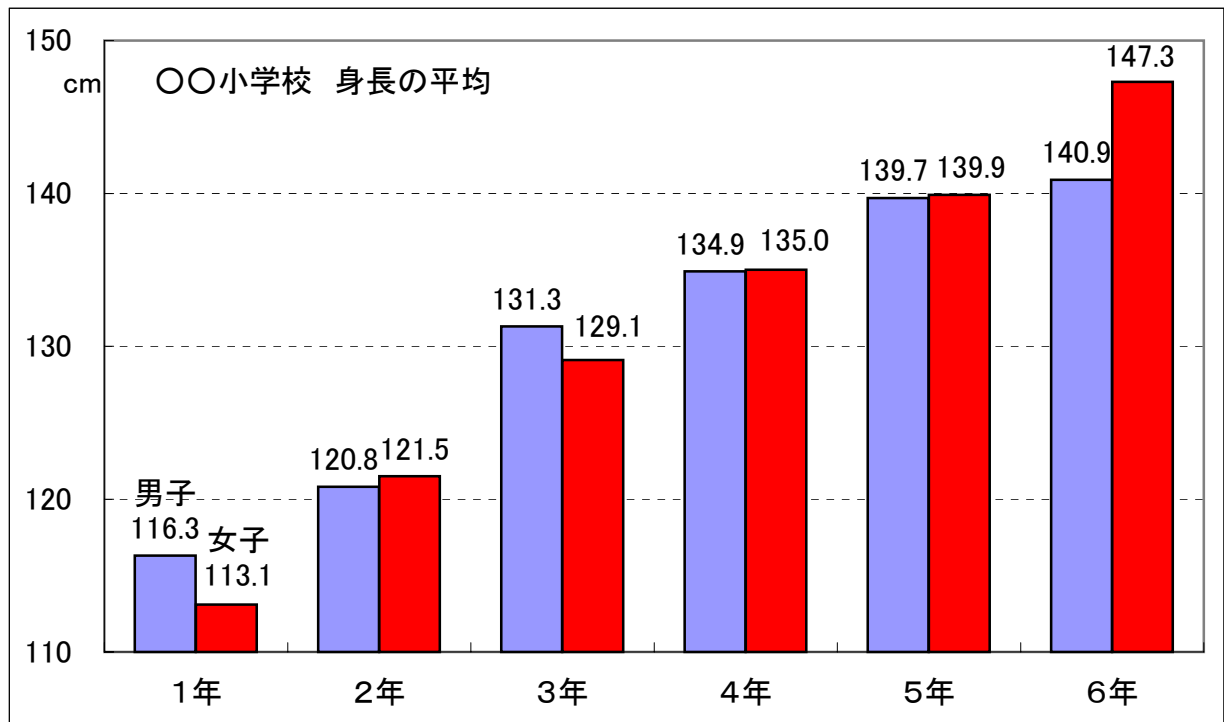
- ① 年れいとともにお発育する。
- ② 男女差がある。
- ③ 個人差がある

3. 家族のささえ

4年生では10才になります。20才で成人になり、ちょうどその半分のおふし目の年です。みなさんは、家族の支えがあつてこんなに大きくなりました。ここまで大きくなるまでに、家族の方がどんなことに気がつけたか聞いてきましょう。(たべものやすいみんななど)

- ・ きらいな野菜もお食べられるようにまぜこんだ。
- ・ 肉料理にかたよらないようにしている。
- ・ ぐっすり眠れるように外で遊ぶようにした。
- ・ 体が弱かつたのでスイミングに通つた。

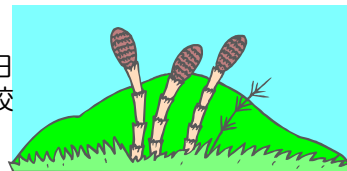
年 組 番 名 前



出典 小学校体育科保健用教科書 新しいほけん3・4 (東京書籍)

のびる

平成〇年〇月〇日
No.〇 〇〇小学校
4年学級通信



保健の学習にご協力ください

4年生で4時間、保健の学習を行います。4年生は「育ちゆくわたし」という題材で、発育や発達について学習します。ねらいは次の通りですので、ご家庭でも、子どもたちの健やかな成長のために栄養や睡眠に気をつけていること、体の変化や異性の関心について体験されていることなどを話題にしていただき、ともに成長を喜ぶ機会にしてください。

日にち	題材名	学習内容	持ち物・宿題
〇月〇日(〇)	体の発育のしかた	赤ちゃんの頃から現在までの成長を知り、発育の仕方は一律でないことや発育の時期に個人差・男女差があることを知る。	保健の教科書 (毎時)
〇月〇日(〇)	からだの育ち	体をよりよく発育させるために食事・睡眠・休養について、気を付けて生活できるようにする。	食事や睡眠に気をつけてきたことを家族に聞いてくる。 (ワークシート)
〇月〇日(〇)	体つきの変化	思春期になると女子と男子の体つきが変化してくることや、初経や精通が起こり、体の中でも大人への準備が始まることを知る。	体つきの変化を家庭で話題にして、変化を調べてくる。 (ワークシート)
〇月〇日(〇)	心の変化	思春期になると異性のことが気になりだすことを知り、友達の心身の成長を思いやることができる	

お願い

「体つきの変化」で初経や精通を取り上げることに、「まだ早い」と思われる方がいるかと思えます。しかし、次のようなことから4年生から学習していきたいと思えます。授業の反応やご家庭での様子などをお聞かせください。

- 常時使用するトイレにトイレコーナーがあることや、実際にトイレ掃除が始まるため。
- 月経を4年生で迎える子もおり（教科書参照）、適切な処置ができないためにズボンを汚してしまうこともある。
月経や精通を理解して、お互いに思いやりをもって接する態度を養うため。
- 子どもたちの悩みや不安を解消するため。
月経や精通をいやなものにとらえると、迎えたときに子どもたちは混乱したり、隠そうとしたりする行動を取ることがあります。月経や精通にまつわる悩みは、保護者や先生に言える子になってほしいと願っています。